

平成23年度全学共通科目
「情報探索入門」第1回
(2011年10月3日)

大学図書館の機能と研究活動

京都大学附属図書館研究開発室
准教授 古賀 崇

1

本日の内容

- 大学での学習・研究に必要なこと
→ この科目で学ぶこと
- 大学図書館の役割

2

この科目の目的

(参照: 別紙「情報リテラシーを身につけよう」)

- 「情報リテラシー」=「膨大な情報から効率よく検索して、目的の情報にたどりつくための力」の向上
- レポート・論文の執筆に必要な技能とルールの習得

3

大学での学習・研究に必要なこと

4

前提(1)

専門分野を
きちんと
勉強した
い!

基礎をどこ
までマ
スターすれば
よいか?

色々な領域
をどうつな
げていけば
よいか?



5

前提(2)

私はこう考える!!
(文章や議論での主張)

ソース(根拠)は?
どこまできちんと、ポイント
を押さえて調べたのか?



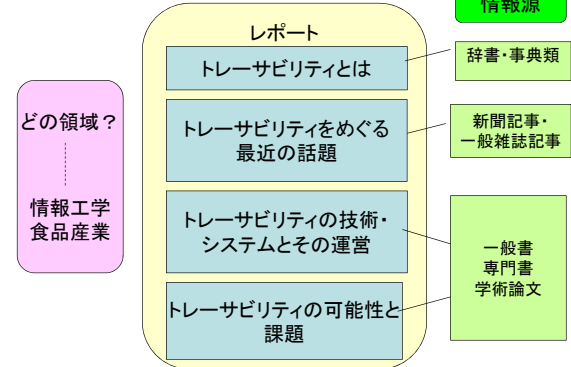
6

学習・研究のポイント

- さまざまな領域・トピックの中から、適切な領域・トピックを選択する
 - 「そもそもどのような領域があるか」を知っておく（「認知科学」の例）
- 領域・トピックにふさわしい情報源（＝根拠）を選択し、それに沿って自分の主張を組み立てる
 - 時事的な話題、ことば・概念の定義・用例、通説、最新の研究成果 など...

7

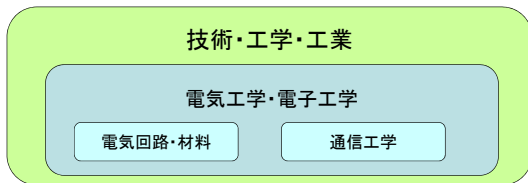
例：「食材のトレーサビリティをめぐる現状について」



8

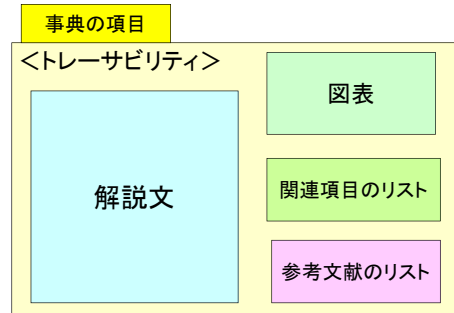
この科目で学ぶこと(1):分類と目録

- 「情報の整理や探索の基盤」としての分類
 - 例:「十進分類法」
- 分類に基づいた、学問領域の上下関係・類縁関係 → 書架・目録に反映



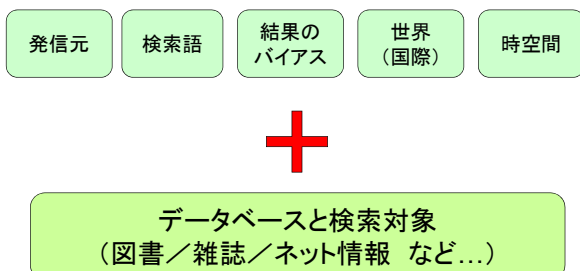
9

この科目で学ぶこと(2): 参考資料(辞書・事典類)の使い方



10

この科目で学ぶこと(3):さまざまな「検索」とその留意点



11

大学図書館の役割

12

図書館の種類の違いを認識すべし！

公共図書館



地域住民のための
情報源・サービス

大学図書館



大学での
教育・研究のための
情報源・サービス

13

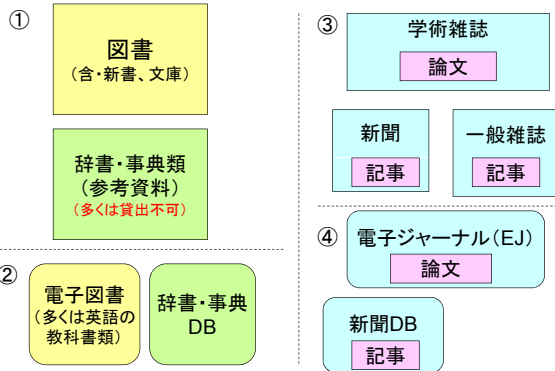
大学図書館での情報源の特徴

- 学術書、専門書が中心
 - 生活のための実用書、趣味の本は少ない
- 幅広い範囲の情報源を扱う
 - 形態面、主題(テーマ)面、言語面
- 電子的・ネットワーク上の情報源が多い
 - 通常のインターネット利用ではアクセスできない

★活用のカギは、図書と学術雑誌・学術論文
の違いを認識すること！

14

大学図書館での主な情報源の区分



15

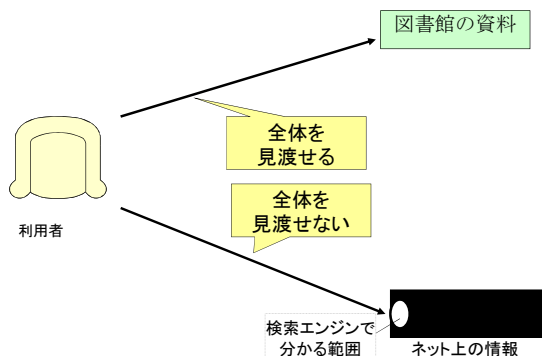
書架上の分類の役割

- 館内を歩けば、どのような資料があるか把握できる
- 館の特性に応じ、資料の特色が出る



16

ネット上の情報は「目に見えない」



17

雑誌

- 学術雑誌は一般の雑誌とは異なる！
 - 研究の成果を示す
 - 査読(事前の内容チェック)
 - 「バックナンバー(過去の分)」の重要性
 - 「電子ジャーナル」への移行が進む
 - 多くは一般書店では入手できない



18

学術雑誌の中の論文の重要性

- 最新の研究成果が論文として現れる
 - 図書に比べると
- 引用されることの多い論文が重要とされる
- 雑誌の中の論文をいかに探し出すか、が大事なスキル



19

電子ジャーナル(EJ)・データベース(DB)

- 「商品」として大学が契約
 - 提供・販売する会社が内容に責任をもつ → インターネット上の無料の情報源との大きな違い
- 京大では「ECS-ID」の取得がこれらの利用に必要
 - 「リモートアクセス」の設定により、学外からの利用も可能

20

さまざまなデータベース

- 新聞記事データベース
- 百科事典データベース
- 論文検索データベース
 - 論文の引用状況が把握できるものも
- 法律・判例データベース
- 統計データベース
- 特許データベース
 - 特許とは：国により認定された発明や新技術

など....

21

図書館機構ウェブサイト

(<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>)



22

情報源の選択(1): タブで切り替え



23

情報源の検索(2): 左側のメニューから選択



24

データベースによって検索対象は異なる
(参照:別紙「情報リテラシーを身につけよう」)

- 多用されるデータベースは...
 - KULINE
 - CiNii
 - Web of Science

→これらについて学内図書館・室で講習会も実施

25

その他

- 貴重書 (→)
 - 画像をネット上で公開
- 書店にない冊子類
 - 各種報告書など
- 新聞
 - 縮刷版、マイクロフィルム版など

...などなど



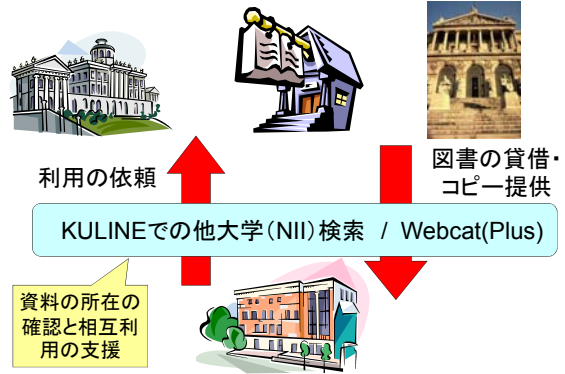
26

京大の図書館・室の特徴

- 附属図書館(吉田中央):主に、全学の3・4回生がターゲット
 - 人環・総人図書館(吉田南):全学の1・2回生、および「人環」の院生・「総人」の学生がターゲット
 - 各部局(学部・研究科、研究所など)の図書館・室:部局の学生・院生・研究者がターゲット
- 京大全体での図書館・室の数:50以上

27

相互利用による、図書館活用の向上



28

KULINEの場合

書誌検索結果

指定された条件に該当する資料がありませんでした。

[検索条件]

書名: historical information science
著者名: mccrank

- ❑ キーワードの綴りや漢字は正しいですか? [検索条件の変更](#)
- ❑ ヘルプをしてみる [KULINE ヘルプ](#)
- ❑ 論文名で探していませんか? [KU ArticleSearch \(論文検索\)](#)
- ❑ **他大学の所蔵を探してみる** [他大学を検索](#)
- ❑ デジタルアーカイブを探してみる [PORTAを検索](#)

29

KULINEの場合(続き)

NII書誌詳細

図書情報 <BA58236301>

- 利用できる機能の選択 - [実行]

Historical information science : an emerging undiscipline
Lawrence J. McCrank --- Information Today, 2002, c2001.

所蔵一覧

所蔵6件 6件中1-6件を表示

No.	館名	配属コード	巻冊次等	請求記号	登録番号
0001	学習院	アーカイブズ		0201/M137H1	0200531627
0002	広市大図			007.2MC	0002500270
0003	愛媛大			0072/MA13	10200517
0004	新国精大情せ			007.2/Ma13	20007396
0005	法大	市図		007.2J7	00315346
0006	筑大図情			007.2.Ma-13	021003010

30

まとめ

- 大学での学習・研究のポイントは「適切な領域・トピック」「適切な情報源(=根拠)」の選択
- これらを助けるための図書館の機能
 - 分類
 - 参考資料
 - 多様な資料・情報源・DBなど

31

授業を進める上での注意点など

32

「情報探索入門」の授業用ページ (図書館機構トップページの右下より)

京都大学図書館機構
The Kyoto University Library Network

全学共通科目
情報探索入門

33

履修(人数)制限について

- この科目の受講は、「KULASISでの履修登録」「吉田南1号館(共106)のPCでの受講申込」の両方が必要です。
- 受講申込は10/7(金)までに行ってください。
 - 無作為抽選の結果は掲示およびKULASISでお知らせします。

34

参考書『大学生と「情報の活用」』

京都大学図書館機構
The Kyoto University Library Network

大学生と「情報の活用」全文PDF

全学共通科目: 情報探索入門講義録

学内からのみ、ネット上での閲覧が可能
(「情報探索入門」授業用ページより)

35

古賀からのおすすめ文献(1)



- 小山田耕二・日置尋久・古賀崇・持元江津子. 研究ベース学習. コロナ社, 2011.
 - 情報探索法、論文執筆法、データの収集・分析法など

36

古賀からのおすすめ文献(2)



- 井上真琴. 図書館に訊け!. 筑摩書房, 2004. (ちくま新書 486)
 - 大学図書館を中心に、図書館の活用法を分かりやすく解説

37

その他

- 教室に注意
 - 原則として、講義 = 共東41、演習 = メディアセンター南館203・204
 - 「参考資料」の回(11/21~12/5)は例外
- ECS-IDを取得しておくこと

38